

## 「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

## 1 有識者・専門家の意見

## 1-①

道案に異論なし。  
医療従事者等へのワクチン接種を進め、医療施設や高齢者施設でのクラスターの発生を少なくするようお願いする。状況に応じた機敏な対応を取っていただきたい。

## 1-②

道案に異論なし。  
資料にある「今後の対策」について、しっかり取り組んでいただきたい。  
BCPは、災害対応を中心に作成されるケースが多いため、感染症に対応したBCPのイメージを持ってもらうよう、作成方法や事例紹介など情報提供を行う必要があると考える。

## 1-③

道案に異論なし。  
今後、感染拡大が急速に進行すると考えられるため、対応をお願いする。

## 1-④

道案に異存なし。  
他都府県の状況を見ると、今後道内においても爆発的な感染拡大に備える必要がある。デルタ株に比べ重症化する例は少ないと言われているが、感染力が強い分、感染者数次第では病床を逼迫する恐れが考えられる。  
また、相対的に自宅療養の患者が増える事も予想され、今まで以上に自宅療養者の体調管理体制の充実をお願いしたい。

## 2 市町村・関係団体の意見

## 2-①

日常生活での感染防止対策の基本は、手洗いやマスクの着用、「密」を避けることなどであり、これまでと変わることはない。道庁からは道民に対し、冷静かつ効果的な対応の呼びかけが重要であり、実効性ある行動を促す、納得感の高い情報提供を引き続きお願いしたい。  
また、小・中・高校の冬休みが終わり、今後、学校内での感染拡大が懸念される見込みであり、まだワクチンが打っていない。  
中学生・高校生についても、他の年齢層に比べ接種が遅れていることから、一層の接種促進を進めていただくとともに、学校・家庭・行政との連携による情報共有や、三密回避のためにも、学校でのリモート授業の選択できるような体制づくりの早急な構築が、道民に安心感を与えると思われる。